



東長崎地域センター管内人口 38,052人（男18,153人、女19,899人） 世帯数16,339世帯（令和4年9月末現在）

東長崎地域センターから地域の情報をお届けします！

### 第1回 輪っしょい祭りが開催されました！！

令和4年9月25日（日）、さわやかな秋晴れのもと、『**第1回 輪っしょい祭り**』が開催されました。これは、令和3年度末に設立した高城台校区コミュニティ連絡協議会が主催する初めての大きな事業です。

令和4年度から協議会として本格的な活動が始まったため大変短い準備期間で、また、新型コロナウイルス感染症により感染症対策を図りながら、地域の皆さんの協力のもと一丸となって取り組まれていました。



当日は、多くの出店やステージイベントなどが実施され、大変多くの方が来場されました。そして、一番盛り上がったのは大抽選会！！地域のいろんな企業や商店からたくさんの商品を協賛いただき、様々な景品を求め、老若男女問わず大盛り上がり。コロナ禍になってからというもの、いろんな行事・お祭りが中止となっていたため、久しく見てない光景でした。

### 『輪っしょい祭り』命名者が表彰されました！！



お祭りの名前は、高城台小学校の児童のアイディアとのこと！

命名者のお二人は、高城台校区コミュニティ連絡協議会の三田村会長から表彰されました。それぞれ、『ワッショイまつり』と『輪っしょい祭り』という表記が違うということでお二人の受賞になっております。

## お知らせ



### ～ 食品ロス・フードドライブについて ～

日本では、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品、いわゆる「食品ロス」が年間約612万トンと推計されています。これは、毎日大型（10t）トラックで約1,680台分、1人当たりだと毎日お茶碗1杯分（約132g）のご飯の量を捨てていることになります。

この「食品ロス」の削減に貢献できる取り組みの一つとして、「フードドライブ」があります。「フードドライブ」とは、ご家庭で賞味期限は切れていないが、忘れられて保管されたままになっている「もったいない食品」や「余っている食品」を学校、地域、職場などが窓口となって回収し、それらをまとめてフードバンク団体に提供する活動のことです。寄付いただいた食品・食材は、フードバンク団体を通じ、子ども食堂や施設等に無償で提供されます。

長崎市役所廃棄物対策課では、「食品ロス」の削減に貢献できる取り組みの一つとして、年間を通して上記のフードドライブを実施し、随時食品・食材の寄付を受け付けています。

常設の取り扱い窓口は長崎市役所廃棄物対策課、サステナプラザながさきとなっていますが、**令和4年10月28日（金）10：00～16：00の間、東長崎地域センターでも受け付けます。**ご協力いただける食品がありましたら、ぜひお持ちください。

### <フードドライブでご協力いただきたい食品>

○ご協力いただきたい食品・・・レトルト食品、インスタント食品、パスタ、素麺等の乾麺、のり、お茶漬け、ふりかけ、粉ミルク、離乳食、お菓子、調味料（しょうゆ、食用油等）など

✖受け取れない食品・・・・・・・・賞味期限が明記されていない・切れている・1か月を切っている食品、開封されているもの、生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）、冷凍・冷蔵食品。



○フードドライブで集まった食品



【発行】長崎市東長崎地域センター

〒851-0133 長崎市矢上町19番1号（東部地区にここセンター1階）

☎839-5151 FAX834-0001 開庁時間：平日8：45～17：30

東長崎地域センターのホームページでは、最新の情報を掲載しています。

ぜひ定期的にご覧ください！！

東長崎地域センター

検索

